

○宇野 裕委員 それでは質問をさせていただきます。

2点ありまして、そのうちの1点目であります。今後の大雨被害についてお伺いをさせていただきたいと思っております。土砂災害警戒区域等の指定については、先ほどの部長挨拶にもありましたし、また、本会議の我が党の代表質問においても伺ったところでありますが、その際、本年5月末までの指定率が53%となり、引き続き令和3年5月末までの指定完了を目指し、着実に区域指定を進めるとの答弁がありました。現在、区域指定完了に向けた取り組みが着実に進められていることと思っております。しかし、昨年のような土砂災害がことしもいつ発生するかもしれません。

そこでお伺いをさせていただきたいと思っております。令和3年5月末までに区域指定を完了することとありますが、指定が完了するまでの間、土砂災害防止に向けてどのように取り組むのかお伺いいたします。

○説明者（大村土砂災害担当課長） 土砂災害担当の大村です。

県では、区域指定に必要な基礎調査を昨年度末に完了し、その結果を5月末までに関係住民及び市町に周知しており、住民には自発的な避難行動に結びつけていただき、市町には避難勧告等が確実に発令されるよう取り組んでいます。また、県ホームページとちば情報マップに指定予定警戒区域も掲載し、あわせて区域内の住民への資料配布にもこの情報を案内しているほか、「県民だより」6月号にて、避難のタイミング等について広く県民へ周知したところです。さらに、市町へ地図情報のGISデータを5月末までに送付し、土砂災害ハザードマップについて、指定予定警戒区域も公表していただくよう依頼しているところでございます。引き続き、令和3年5月末の指定完了を目指し、着実に区域指定を進めてまいります。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。とにかく、市町村との連携というのがとても大事だということを感じております。担当者同士で密に連絡をとっていただくことが、来年の5月末までに完成する間のこの空白期間というか、そのできない期間、来年の5月末までにそういう基礎自治体との連携というのは非常に大事ですので、ぜひその辺をしっかりとっていただきたい。そのことが県民の生命を守るための取り組みを着実に進めることになると思っておりますので、繰り返しになりますが、次の出水期前の来年5月末までに地域指定が完了するよう、しっかりと進めていただきたいと思っております。

2点目でございますけれども、地元の道路問題についてお伺いをさせていただきたいと

思います。

県道飯岡片貝線長谷バイパスについてであります。この問題につきましては、平成30年6月の委員会においても伺っておりますが、改めて、県道飯岡片貝線匝瑳市長谷地先周辺のバイパス整備についてお伺いをさせていただきたいと思っております。この県道飯岡片貝線は、地域にとって大変重要な道路であります。匝瑳市長谷地先周辺においては、道路が屈曲しながら家屋密集地を通過するため見通しが悪く、円滑な交通に支障を来している状況であります。また、この県道は幅員も狭く、歩道も整備されていないことから、歩行者の安全確保が問題となっております。現在、長谷地先で現道を迂回するバイパス事業が進められておりますが、円滑な交通や歩行者の安全性の向上を図るためにも早期の完成を強く待ち望んでいるところであります。私のところにも、地域の方々から早くこの道路、バイパスを完成してほしいという声が届いております。

そこでお伺いをいたします。県道飯岡片貝線長谷バイパスの進捗状況はどのようになっているのでしょうか。

○説明者（長島道路整備課長） 道路整備課でございます。

県道飯岡片貝線につきましては、匝瑳市吉崎地先から野手地先までの1.8キロメートル区間におきまして、バイパス整備を進めているところでございます。これまでの用地進捗率は約2割であり、まとまった用地が確保できた箇所において歩道を設置してきたところでございます。昨年度は、道路と交差点の詳細設計や警察協議を実施してきたところでございまして、今年度は用地測量を進めるとともに、事業に対して御理解をいただいている終点側の長谷地区におきまして、用地取得を進めてまいります。今後とも、地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら事業を推進してまいります。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。これは要望でありますけれども、用地の取得、これが一番大事であります。そのためには、地権者の方々の協力が前提となるわけですが、今後用地取得が進捗をして、ある程度まとまった用地が確保できた段階で、部分的でも結構でございますので、部分的に工事に着手して、あっ工事が進んでるなど、事業が進んでるなというような感じを住民の方々にアピールできるようなことを考えていただきたいと思います。県の事業、非常に用地交渉大変なのはよくわかるんですけども、完成するまで工事をやらないとなると、住民から見ても何も進んでないというふうな印象になってしまいますので、繰り返しになりますが、部分的に、できましたら歩道の整備でも結構ですし、特に非常に狭隘なところがありまして、ボトルネックになってるところがあるんですね。そういうところだけでも、夜、非常に

暗いエリアですので、脱輪したり、田んぼに車が行ってしまったり、大変危険な部分もありますので、ぜひその辺のところを考慮していただいて、この事業推進に御努力いただきますようお願いをいたします。

以上です。